

欧州視察報告＜5＞

視 察 項 目	リエカ市表敬訪問 後 市長主催懇談会
視 察 日 時	2009年2月4日（水） 午前11時30分～14時00分
視 察 先 名	リエカ市庁舎
出 席 者	ヴォユコ・オベルスネル市長 ドロテア・ベシチーブコヴァツ市議会議員 ナダ・マトセヴィッチ国立歌劇場所長 エルネスト・ツクロヴ市議会議員 白川 哲久クロアチア日本大使館 特命全権大使
担 当	佐々木由美子

【リエカ市表敬訪問】

2007年の姉妹都市提携30周年交流事業の際に、川崎市を訪問した時の感想をリエカ市長が述べられ、『更なる親交を深めることが大切だ。』との挨拶を頂戴しました。

また、市議会議員や国立歌劇場所長からも、

ミューザ川崎シンフォニーホールへのお褒めの言葉を頂戴し、『是非オペラコンサートを開催したい。』と提案を受けました。

今回、視察団団長からは、『議会としては21年ぶりになるリエカ市訪問であり、大変意義のある訪問になったこと。音楽を通じて、今以上の交流を図っていきたい。』と挨拶をし、同時に阿部市長から預かった親書を市長へお渡



リエカ市庁舎にて



親書を手渡す鏑木団長

しました。

また、リエカ港で行われていた日本事業社（鹿島）との初めての共同事業がクロアチア国の事情から、撤退になってしまったことは残念である。川崎市の教育・技術発展を見ると、リエカ市は川崎市から知識や技術の提供が欲しい。今後は、技術交流を図りたい。歴史ある町の復興に対しての協力を求められました。自治体議会の持つ権限の違いなどがあるものの、互いの発展のために、今回、視察団としても力を出していくことをお約束してきたところです。



また、リエカで拡張工事を計画している第6埠頭（写真左）には、『神奈川サイエンスパークのような取り組みをしていきたい。』との話がありました。視察団員からは、『川崎市には、K2タウンや臨海部の環境産業拠点もあるので、こちらも是非参考にして欲しい。』との声や、『次回の訪問が可能であれば、川崎商工会議所など民間企業も一緒に来ることが良い結果を生み出すことになる。』などの声も聞かれ、有意義な意見交換をすることができました。

今回の表敬訪問の様子は、リエカ市内の多くのプレス取材が入りました。ラジオ放送局からは、議長へのインタビューも行なわれリエカ市民の関心の高さが感じられました。



地元ラジオ局から取材を受ける鏑木団長



リエカ市議会議長と視察団

また、議場の見学を申し出ると「これから市民講座の会場になるので・・・」と言われながら案内された議場は、多くの市民が講座の開始を待っていました。議会閉会中は、市民に開放されているとのことでした。とてもオープンな雰囲気の良い議場であり、案内して下さった議長も親しみのある女性でした。

リエカ市最後の行程は、1日半の交流を締めくくる市長主催の懇談会となりました。

懇談には、マグロを使った料理が出され、クロアチアからは日本へマグロの輸出が盛んであることや料理法が違い驚いた話など交流を深めることができました。21年間、議会からのリエカへの訪問はありませんでしたが、今回の訪問を機会として、リエカ市民にも「KAWASAKI」に親しみを感じてもらい、また私たち川崎市民もリエカ市への見聞を広め、基礎自治体間の外交の発展のきっかけを今回は創ってこれたものと考えます。今後は、友好姉妹都市との民間交流を含め、どのような交流があるのか調査研究していきたいと思えます。



リエカ市長と懇談する視察団